



ひがしおか 2020 9

奇数月1日発行 第118号

2020 東町 オンライン夏まつり



千里音頭などのレクチャーをまじえた盆ダンス



とよピヨもお手伝いにきてくれました♪



夏祭りの花形、和太鼓クラブ八鼓の熱演

コロナウイルス感染拡大防止の観点により、初の試みとなる Web 配信を活用したイベントとして、8月22日（土）に実施いたしました。東町の伝統文化・芸能のひとつでもある、盆踊りのレクチャーをはじめ、和太鼓、沖縄エイサーなど、地元団体の発表の場として活用できたと思います。

お楽しみ抽選会にもたくさんご応募頂き、ありがとうございました。

新千里東町地域自治協議会



大人気の「鬼滅の刃（きめつのやいば）」のキャラに扮した東町の保護者たち。

鬼滅シスターズとして盆ダンス、パプリカダンス、お楽しみ抽選会などを盛り上げてくれました。

特集

「ひがしまち街角広場」

～近づく閉店を前に、まちの居場所の19年間を振り返る～

新千里東町近隣センターの空き店舗を活用した「ひがしまち街角広場」は、住民の提案によって2001年9月に誕生しました。誰もがふらっと立ち寄ることのできる新千里東町の「居場所」として、また、住民同士のなげない見守りの場として住民ボランティアの皆さんによって19年間運営されてきました。全国の住民運営の「コミュニティ・カフェ」の先駆けであり、モデルともなっています。しかし、近隣センターの移転・建替えのために、2021年春から2022年秋の間に閉店することが決まっています。この特集では、「ひがしまち街角広場」の役割がこれからの時代に合った形でつぎの世代に引き継がれていくことを願い、「ひがしまち街角広場」が誕生するまでの経緯や果たしてきた役割、生み出してきた価値を振り返ります。

「ひがしまち街角広場」が誕生するまで

2000年（平成12年）頃の千里ニュータウン

千里ニュータウン誕生から約40年が経過し、まちの環境や住民の状況は大きく変化して様々な地域課題が表面化してきました。

- 若い世代の転出が進み、少子高齢化が進行
- 団地の建替えの本格化による環境や近所づきあいの変化への関心・不安の高まり（特に高齢者）
- 千里ニュータウン第一世代の定年退職の始まり
- まちの中に、高齢者をはじめとした誰もがふらっと立ち寄れる日常的な交流の場がない。

2000年 新千里東町は国のモデル事業地区に

住民が地域課題の解決に取り組むために、新千里東町は国の「歩いて暮らせる街づくり構想」のモデル事業地区に指定され、構想が提案されました。

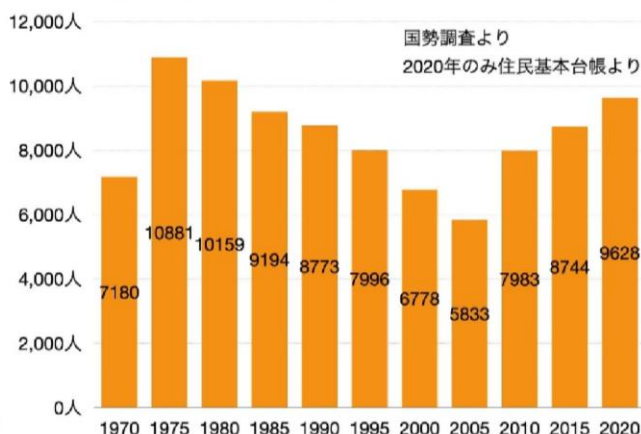
2001年（平成13年）モデル事業の実践として「ひがしまち街角広場」が誕生

「歩いて暮らせる街づくり構想」の住民提案の一つであった「近隣センターを生活サービスと交流拠点にしよう」が「ひがしまち街角広場」として実現しました。場所は近隣センターの空き店舗。住民の手によって改修され、住民ボランティア（無償）が運営するコミュニティ・カフェがオープンしました。最初の半年間は社会実験として豊中市から補助を受けて運営しましたが、その後は補助を受けずに自主運営を続けています。

現在の運営状況

- ・運営費：飲み物代（お気持ち料）100円と貸室料（2時間500円～）を充当
- ・開店日・時間：土曜・日曜・祝日以外の11:00～16:00
- ・利用者数：1日当たり30～40数人程度
- ・スタッフ：15人（曜日ごとの当番制）
- ・運営委員会：地域団体の代表とスタッフ代表で構成

新千里東町の人口の推移（1970年～2020年）



2001年9月 近隣センター北西角の空き店舗でオープン



2006年5月 現在の場所（元パン屋）に移転



「ひがしまち街角広場」の特徴

単なるカフェではなく「居場所」であること

「ひがしまち街角広場」は、誰もがふらっと立ち寄ってお茶を飲み、おしゃべりができるまちの「居場所」ですが、そのことがつぎのような住民同士のつながりや関係を生み出しています。

- 道であいさつする顔なじみの人が増える。
- お互いに教え合う、誘い合う、安否を気遣い合う関係が生まれる。
- 子どもたちが水を飲みに来ち寄って大人と会話ができる。
- スタッフと利用者は、サービスをする・されるの関係ではなく、「居場所」をともに盛り上げるパートナーである。

千里ニュータウンは計画的につくられたまちですが、専門家が気づけなかった暮らしの中の「居場所」を住民の工夫で生み出し、育んできました。このことは、新千里東町が誇るべきまちづくりの知恵であり、まちの宝です。

「居場所」を超えた役割を持っていること

「居場所」の運営とともに、地域貢献や各地の地域団体、国内外の大学との交流の場の役割も担ってきました。

- 新聞「ひがしおか」の配布前の一時預かりやコミュニティールのカードキーの保管・貸し出し、「竹林整備 & 住民親睦会」の主催などの地域貢献
- 国の内外から千里ニュータウンや「ひがしまち街角広場」を訪れる見学者・研究者・学生の受け入れと交流(新千里東町の国内外に開いた「窓」の役割)
- 「千里竹の会」や「千里・住まいの学校」、「千里ニュータウン研究・情報センター(ディスカバー千里)」などの市民団体が誕生した場所・活動の拠点

「ひがしまち街角広場」が「居場所」のモデルとして全国に知られている理由は、このような活動の広さにもあります。

「ひがしまち街角広場」スタッフから

「ひがしまち街角広場」の利用者の皆さんからは、「私たちの行き場所がなくなってしまう」、「新しい会館のカフェはどのように私たちが気軽に行ける場所なのだろうか?」といった心配をよく耳にします。私たちは19年間、住民のつながりづくりと孤立防止を心掛けてきました。新会館のカフェを運営される方たちには、「ひがしまち街角広場」の利用者の声に耳を傾け、運営の考え方を参考に、誰もが立ち寄ることのできる多世代交流の場づくりをお願いいたします。

閉店までのスケジュール

- ・2021年5月頃の商店街の移転時に現在の体制での「ひがしまち街角広場」は終了
- ・2022年7月頃の現近隣センター取壊しまで希望者を募って現在の場所で新たな居場所づくりの実験を行う予定(コミュニティ・カフェ、チャレンジショップ、共同オフィスなど)

「ひがしまち街角広場」の日常(コロナ禍前)



2019年3月イギリス・オックスフォード大学
研究者の見学



その他、ドルトムント工科大学、ジーゲン大学
(ともにドイツ)や国内の多くの大学など

毎年4月の「竹林整備 & 住民親睦会」



文責：千里ニュータウン研究・情報
センター(ディスカバー千里)



福祉委員会

「敬老の集い」中止のお知らせ

今年度の「敬老の集い」は、新型コロナウイルス感染予防の観点から中止します。小学校での催し全般と来場者への参加品配布はありません。

88歳(昭和6年9月17日から昭和7年9月16日生まれ)・99歳(大正9年9月17日から大正10年9月16日生まれ)の方には案内ハガキが自宅に届いた後、民生委員がご自宅に長寿祝い品をお届けします。



7月豪雨災害(熊本・鹿児島)を支援するため福祉委員役員(男性役員を含む)とボランティアが雑巾を縫いました。自宅で縫ったものを含め54枚が出来上がり、新品タオル300枚と共に豊中市社会福祉協議会に届けました。



「コロナに負けるな」キャンペーンに賛同してお菓子の詰め合わせ(2,000円)10箱を購入、合わせて現金50,000円を善意銀行を通じて寄付しました。

シニアクラブ連絡会の代表が
今井 琢磨氏に代わりました



防犯東丘

児童 見守り隊

コロナ禍で、小学校との対面式が出来ず、7月にビデオで見守り隊から子どもたちへメッセージを送りました。現在、見守り隊は約130名。これからも「ながら見守り」で、見守っていきます。

注意! 特殊詐欺被害状況 (6月末現在)

豊中署管内 発生件数: 25件
被害額: 約5,300万円

「NTT騙り詐欺」が急増!



3-3



ローレルコートあかしや



ガーデンヒルズ



ジオメゾン



シティーハウス



桜ヶ丘メゾンシティー

公民分館

東丘公民分館活動のいま

全国的にもユニークな存在の豊中市の公民分館活動は、教育文化都市「とよなか」の評価に大きく貢献しています。わが東丘校区でも多くの方が講座や催しに参加され活発な社会教育活動が続けられてきました。

ところが、今年は新型肺炎コロナウイルス感染拡大により、地域の皆様の感染リスクを抑えることが最重要であるとの認識から分館活動の中止を

決断した次第です。
この秋予定していた
①ふれあい運動会、
②文化祭も中止とさせていただきます。

楽しみにされていた皆様方にお詫びするとともに、一日も早いコロナ騒動の終息と皆様方のご健康を心よりお祈り申し上げます。

